

《審議会報告・概要版》

総合計画審議会 第4回 第3部会

平成18年8月7日(月)午前9時

市役所本館6階 第3委員会室

1 開会 (会長)

2 部会長会議(素案修正案)報告

- 資料1に基づき、第2回・3回意見に対する事務局対応案を説明した。
- 資料2・3に基づき、部会調整案について説明した。

(説明者：松田計画調整課長)

3 施策別プラン

都市像 「安心と共に育つ、暮らし快適都市」 政策1～5について

- 幹事による説明の後、審議を行った。(主な意見は以下のとおり)

4 その他

- 次回(第5回)の予定について確認した。

審議内容 基本計画各論

施策別プラン 都市像 「安心と共に育つ、暮らし快適都市」 政策6～10

日時 平成18年8月23日 午前9時から

会場 本館6階第3委員会室

以上。

終了：正午

(主な意見)

1 毎日の安全な暮らしを守る

(3) と(5) で食品の安全性の確保で、BSE を大きく取り上げすぎてくるのではないか。

「農業者の支援」が課題としてあるが、施策の記載がない。

「自分の安全は自分で守る」という表現は、市が何もやらないように感じる。文頭に持つてくるのは賢明ではない。

「自分の安全は自分で守る」は、正しい知識の普及・啓発ということであると思うが、そのためには情報提供が重要。

P130 で、「専門化・高度化が進展している」とあり、それに対応する施策が「事故防止対策を推進」の部分であると思うが、それは一般的なものであり、その課題に対応する特別な取組が必要なのではないか。

「女性消防団」の表記で、特に女性を書く必要はないのではないか。

の感染症患者等への支援、適正医療の確保の部分は危機管理ではなく医療の分野なのではないか。

災害時の NPO など、市民活動の支援に関する記載を。

主要な施設の自家発電設置の検討を。

中ノ口川は、上流が安全になった分下流にしわ寄せがきている。8 年間でどこまで記載できるかわからないが、記載が必要ではないか。

上水道だけでなく、下水道施設の耐震性も重要。

墓地や理美容の記載があるが、唐突に感じる。

新潟はまちの中心に墓地があり、特徴的。ありをどう考えていくのか。

2 心豊かに健康でいきいきすごす

(1) と(2) は自ら進めるものと行政とともにすすめる、と分けているが、予防・支援といった内容によって分けてはどうか。また分けずにひとつにしてもよいのではないか。

精神疾患でも福祉の対象ともならない方たちが家庭に引きこもっている例が多くあるが、その記載がない。どのような取組をしているのか。

男女で健康に対するアクセスや情報提供は違っている。男女で異なる病気のありようということに焦点を当てた性差医療など、きめ細かい相談や環境整備にウエイトを置く必要があるのではないか。

自給率が高いと、生産と消費の場が近い、ということがここに書かれていない。ますます自給率を上げますといったような言葉がどこかにほしい。それを受けて P138 の地産地消といった表現がでてくるとよい。

家に閉じこもりがちな老人、いろいろなイベントに参加しない老人へ、どう参加させるかという施策が必要。

心の健康づくりについて、「自ら進める健康づくり」に含めてよいのか。(2) 市民とともにすすめる健康づくりのほうがよいのでは。

3 適切な地域医療の確保

水俣病の記載がない。

救急車の軽症の傷病者が 50%以上あるという課題に対する施策がない。

4 こどもたちのすこやかな育ちの支援

すこやか未来アクションプランで基本施策が 27 項目あったが、それを 13 に絞ってあるということは、何か意味があるのか。

総合計画は上位計画であり、すこやか未来アクションプランのどこまで柱にするかという議論が重要。

不妊についての記載があるが、子どもが生まれてからの支援と別に考えるべきではないか。

「地域子育て支援センターによる孤立しやすい子育て家庭へのきめ細やかな支援」とあるが、新潟市内の 27 施設では足りない状況であり、歩いてすぐ行けるような体制づくりとが必要。

「市民と連携した情報提供」の施策が見えにくい。

保育園は働く親への活動だけでなく、地域子育て支援もおこなっている。課題として出てくるのではないか。

子どもの居場所づくりで、児童館や児童センターの記載があるが、屋外での遊び場の充実も必要。校庭の芝生化の動きもあり、新潟市でもぜひ進めてほしい。

と で、子どもに対するケアが見えにくい。親のケアと併せて記載してほしい。

妊娠 3 ヶ月くらいの妊婦は、はた目にはわかりにくい。厚生労働省や都道府県ではマタニティマークを配布している。こうした取組も重要ではないか。

障害の「害」は、ひらがなのほうが適切ではないか。障害者計画においてもひらがなにしている。

発達障害の子どもへの取組で、相談員だけでは進まない。専門医が必要。「専門医」と「医療」を入れてほしい。

5 長寿社会をいきいきすごす

ただサービスの提供ではなく、就労という視点も必要。長寿社会を担う高齢者というようなイメージを持ちたい。

老人パワー・老人を活かす、という視点がない。

高齢者は、コミュニティ協議会や地域の自治会などを支えるパワーとなっている。

金銭的・体力的に余裕のある高齢者はボランティアとしても期待できる。地域の子育てがより充実する。

現況のところ元気な人たちをより元気にしていくためにということが、最初にかいてあるといい。

その他

課題として整理されたものについては最低限施策のなかでわかりやすく記載してほしい。